

分野	11	産み育てる環境	通番 1
施策	111	子育て環境の充実	
5年後の目標		多世代が交流し、子育てについて学び、悩みを気軽に身近で相談できる環境が整っている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	地域子育て支援拠点の充実事業		会計	款	項	目	17,296,442	子育て支援課
			一般	3	2	1		
事業の概要								
<p>子育ての仲間づくりや育児知識の提供、育児不安の軽減や悩みの解消、虐待未然防止のため、ペアレントトレーニングに取り組むなど、当該事業のさらなる充実を図ります。</p> <p>また、親や子ども同士のふれあいと交流をさらに促進するため、既存の地域子育て支援センター4か所に加えて、新たな子育て親子の交流拠点の開設を検討します。</p>								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	子育て支援センター数				単位	カ所
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	2(平成26年度)	目標	2	4	4	4	4
		実績	2	4	4	4	
<p>・中学校区ごとに設置された市内4つの地域子育て支援センターにおいて、親子が気軽に出かけることができ、子育て中の親子同士がふれあい、交流できる場を提供するとともに、育児相談などを行いました。</p> <p>・平成30年度から初めて子育てをする保護者を対象とした「親子の絆づくりプログラム(ベビープログラム)」を各センター運営のもと実施しています。</p> <p>・地域子育て支援センターの認知度向上のため、中央公民館やバンビオ、西代里山公園などに出向いて遊びや子育て相談を行いました。また、市ホームページや子育て支援ナビがすく！などの媒体を通じて広く情報発信を行いました。</p>						<p>子育てガイドブック内でのセンター紹介</p> <p>Chapter9 交流・子育て相談・仲間作り</p> <p><small>本誌に掲載されている情報は、変更される場合があります。詳しくは読者情報にお問い合せください。</small></p> <p>地域子育て支援センター <small>(子育て支援課 電話 955-9550)</small></p> <p><small>市内には4か所の地域子育て支援センターがあります。様々な子育ての悩みや不安を相談し、解決策を一緒に考えます。お気軽にご相談ください。</small></p> <p>子育て支援センターとはどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子が集って遊べるスペースがあります。 ・子育てに関する情報が得られます。 ・地域の子育て情報を知ることができます。 ・子育てに関する悩みを相談できます。 ・妊婦さんには産・産後について、産後の先輩ママとお話できます。 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和元年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		子育てに「非常に不安や負担を感じる」と回答した割合	平成30年に実施した調査結果は4.7%であり、前回調査時(平成25年)より1.5ポイント減少しています。		192
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・4つの地域子育て支援センターを運営することにより、子育て中の親子に身近な育児相談の場や居場所、交流の拠点を提供し、育児不安の軽減につなげました。</p> <p>・昨年度に引き続き、初めて子育てをする保護者を対象とした「親子の絆づくりプログラム(ベビープログラム)」を実施し、87組の参加がありました(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6クール中1クールが中止)。</p>	
課題等	<p>・少子化や核家族化の進行とともにライフスタイルや働き方が多様化する中、子育て経験の継承や、身近で子育てスキルを得る機会が少ない状況にあります。また、子育て世代の転入も多く、地域でのつながりを築きにくい面があり、子どもの育児に不安や悩みをもつ保護者や地域で孤立した子育てを行う保護者が増えています。</p>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・上記の課題を解決するため、引き続き地域子育て支援センターにおいて、子育て中の親子が集い、交流や育児相談ができる場の提供を行うとともに、子育て支援プログラムである「親子の絆づくりプログラム(ベビープログラム)」を実施します。</p> <p>・地域子育て支援センターをより多くの方に知ってもらうため、引き続き親子の出かける場に出向き、遊びや育児相談を行うほか、市ホームページや子育て支援ナビがすく！などを通じて情報発信を行います。</p> <p>・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を回避した事業実施に努めます。</p>

分野	11	産み育てる環境	通番 2
施策	111	子育て環境の充実	
5年後の目標		多世代が交流し、子育てについて学び、悩みを気軽に身近で相談できる環境が整っている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	児童虐待防止事業		会計	款	項	478,613	子育て支援課
			一般	3	2		
事業の概要							
児童虐待は社会的にも大きな問題となっており、児童に関する様々な悩みや不安に対応するため、家庭児童相談室が総合相談窓口となり、各関係機関と連携して、子どもの心身に深刻な影響をもたらす児童虐待の未然防止、早期発見に努めます。							

令和元年度の取組							
D (取組)	指標	児童虐待ケースの新規受理件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	84(平成26年度)	目標	90	89	前年度数値を上回らない	前年度数値を上回らない	前年度数値を上回らない
		実績	131	119	180	182	
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談室の相談事業により、子どもと家庭の相談を随時行い、虐待の未然防止につなげています。 ・親支援として、初めて子育てをする保護者のための親子の絆づくりプログラム(ベビープログラム)及び小学生の子を持つ保護者のための前向き子育てプログラム(トリプルP)を実施しました。 ・要保護児童対策地域協議会の事務局として関係機関と情報共有や連携を行い、児童虐待の未然防止、早期発見、要保護児童及び保護者の支援に努めています。 					児童相談所全国共通ダイヤル「189」 		

施策の「5年後の目標」に対する評価							
令和元年度の達成状況							
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁		
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待ケースの新規受理件数は前年比でほぼ同数です。 ・内訳では、要保護児童166人、特定妊婦16人、計182人です。特定妊婦は前年度の28人から12人減少しました。 ・警察から京都府家庭支援総合センターを通じた通告が最も多く、全体の3割以上を占めています。 ・平成29年度以降、新規受理件数は増加傾向にあります。救急要請等に係る警察からの通告ケースの増加や児童虐待防止への地域全体の意識が高くなっていることが要因と思われます。 	虐待ケースの新規受理件数	平成30年度は前年度と比べて大きく増加しましたが、令和元年度はほぼ前年度と変わりませんでした。	193
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京子育てコンシェルジュとの連携により、妊娠・出産期からの切れ目ない支援や親支援プログラムの実施など、長期の視点で虐待未然防止を図る取り組みが必要です。 ・児童虐待を早期発見し、適切な対応を行うため、今後も関係機関との連携強化が必要です。児童虐待は様々な要因があり、個別性も高く、個々の状況に合った対応が求められます。そのため、令和2年度もケースについて情報収集や評価を行い、適切な支援を行うことが必要です。 					

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待未然防止のため子育て支援事業や親支援プログラムを継続して実施します。 ・前年度から引き続き、要保護児童対策地域協議会実務者会議を全体会と部会に分けて開催し、部会には児童虐待アドバイザーが参画し、リスクの高いケースへの対応について協議を行い、適切な支援を行います。 ・要保護児童の進行管理のための通告票や個人票などの記録様式を見直し、資料作成の効率化を行います。